

# 【経済理論】 佐藤 拓也 ゼミ



演習テーマ:『現代の資本主義と日本経済について考える—理論的・実証的アプローチ』

## <活動内容>

- 【2年次】 前期 現代資本主義や日本経済、経済理論についての文献講読と討論  
8～9月頃 夏合宿（2～4年合同）（ゼミナール大会参加のためのチームとテーマの決定）  
後期 現代資本主義や日本経済、経済理論についての文献購読と討論  
ゼミナール大会（3年次）に向けた準備（テーマの掘り下げ、PPT発表等）  
1～3月頃 春合宿（2年生のみ）（ゼミナール大会参加に向け共同論文の内容の報告）
- 【3年次】 前期 ゼミナール大会の準備（テーマ趣意文作成、共同論文下書き、プレゼン練習等）  
8～9月頃 夏合宿（2～4年合同）（共同論文完成）  
後期 学内プレゼン大会、インナー（関東）大会、インター（全国）大会への参加  
※サブゼミはグループ毎に適宜開催
- 【4年次】 前期 月に1回程度の顔合わせ  
8～9月頃 夏合宿（2～4年合同）（下級生の指導と演習論文（卒論）作成計画）  
後期 演習論文（卒論）作成、3年生のゼミナール大会へ議長団として参加  
1～2月頃 演習論文（卒論）完成、論文集製本、送別会  
※その他、随時、懇親会など。

## <ゼミ紹介>

### 【特徴・雰囲気】

ゼミの特徴は、「自由」。教員からの条件は、3年次にゼミナール大会に出場すること、4年次に卒業論文（卒業論文）を書くことの2点だけです。その他は、活動全般に積極的に参加してくれれば結構です。

しかしなぜ「自由」が良いのでしょうか。ひとつは、教員が締め付けて学生が勉強しても、それでは真の力にならないからです。そして、なにより、大学のゼミとは、間違っているかもしれない意見や曖昧な考え方も含めて、自由に考えを言い合える場でなければならないからです。教員が一方向的に正解を教えてしまえば5分で終わることでも、あえて熱い議論を闘わせて、そのなかから自分なりの意見が生まれてくるのが大事なのです。ですから、ゼミで最も重視しているのは、全員が臆することなく討論できる（しゃべれる）ようになることです。

最近では、一方通行で分かりやすく見せるプレゼンテーションの技術が、ますます重視されるようになっていきます。しかし、このゼミでは、双方向での討論の能力を養うことに特に重点を置いています。したがって、下記のようなインナー大会・インター大会に出場し、他大学の同学年の学生たちと議論することで、理論的な思考力や発言力を含めた討論の力を養っていきます。

#### 【勉強内容】

広く、現代の資本主義とは、日本経済とは、経済学とは、を考えることを基礎にしています。2年次に基礎を固めながら、2年次の途中からゼミナール（討論）大会に向けて数名ずつの班に分かれて、およそ資本主義に関することであればどのようなことでも自由にテーマを設定して、勉強を進めていきます。

2017年度の3年生は、①キャッシュレスエコノミー、②年金問題、③格差問題、④アメリカの経済政策と日本、の4班に分かれて、インナー大会（東京経済大学）、インター大会（近畿大学）に出場します。また、学内プレゼン大会に参加する年もあります。自分たちだけで、現地調査に行ってくる班もあります。

「何でもあり」「言った者勝ち」の議論に参加してみたい人、今は話すことが苦手だけれどこれからそれを鍛えたい人、現代資本主義や日本経済について深く考えてみたい人等々、お待ちしております。また、「経済理論」ゼミらしく、マルクス経済学やマクロ経済学などの理論的な面からのアプローチも重視していきたいと思しますので、そうした分野に関心がある人も待っています（ただしこれらの科目のこれまでの成績は一切問いません）。なお例年16~18名程度を募集の目安としています。